

長野県のツキノワグマ目撃及び人身被害の状況

令和8年7月17日 現在

長野県林務部 森林づくり推進課

●目撃情報と皆さまへのお願い

- ・ 5月から6月にかけて目撃が多かった、北アルプス、木曽、松本の3地域とも、6月中旬以降の目撃件数は減少傾向となったことから、北アルプス、木曽地域の警報は7月10日に解除、松本地域の注意報は本日(7/17)で解除となりました。
- ・ これから本格的な盛夏を迎えますが、山の中のクマのエサが少なくなることから、森林以外の場所にエサを求めて活動域が広がります。全県の例年の傾向として、夏は人の生活圏における目撃は多い時期となりますので、出没したクマが人の生活圏を餌場として認識し、繰り返し出没させないためにも、家庭の畑の廃棄野菜や生ゴミなどの管理と処分の徹底をお願いします。
- ・ また、山野に入る際や山ぎわで活動される際は、音の出るものを携行するなど基本的な対策を行い、引き続きクマとの遭遇に十分ご注意ください。

●人の生活圏でのツキノワグマの目撃件数の推移（速報値）

[illegible]

※人身被害は林内での発生も含む。

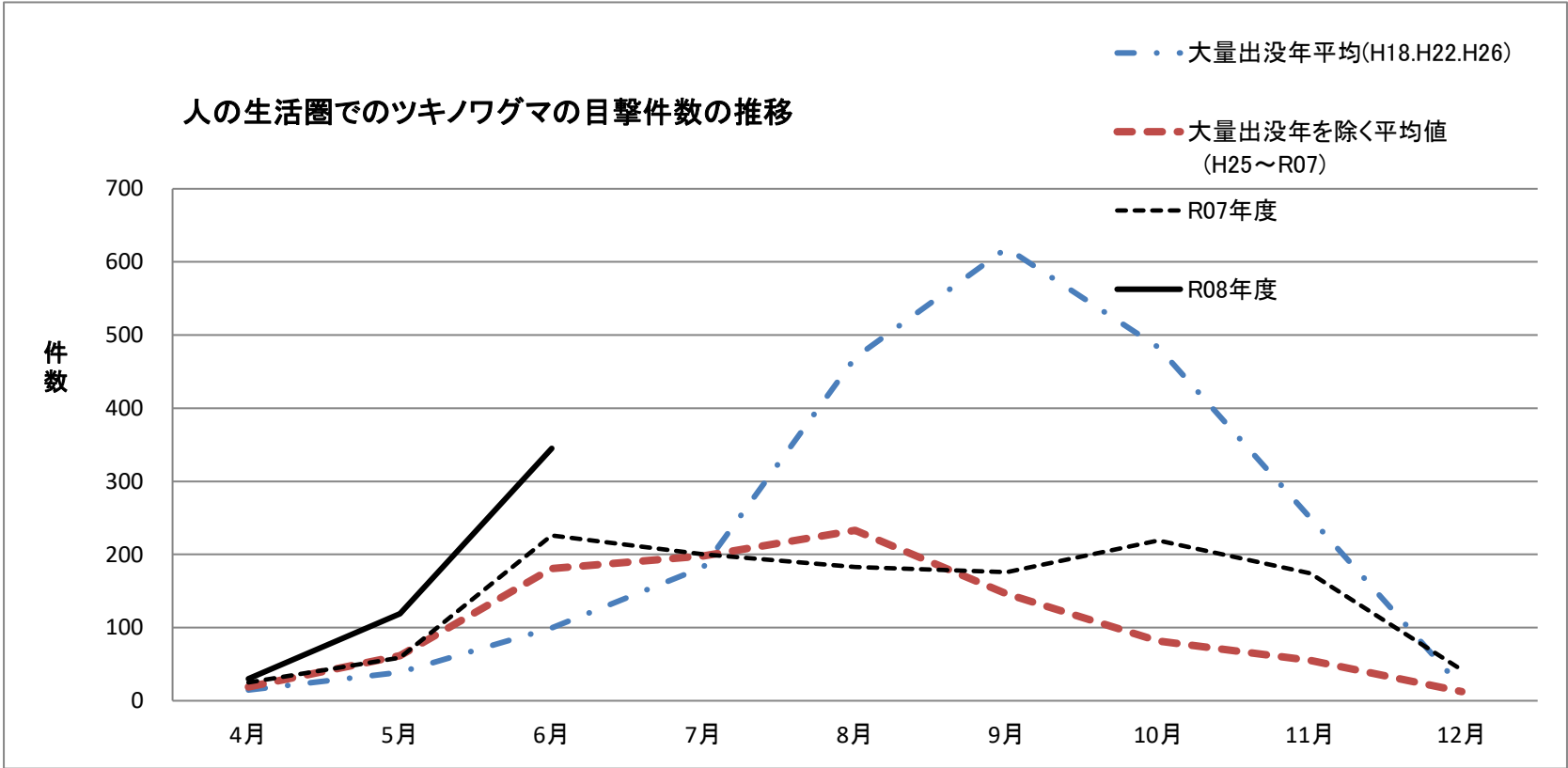
網掛けのセルは大量出沒年。

●地域別目撃件数

[illegible]

〔参考〕大量出沒年、大量出沒年以外の平均目撃件数との比較

凡例	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	4-12月 累計	人身被害 件(人)
大量出沒年平均 (H18. H22. H26)	15	39	100	183	469	619	483	250	18	2, 176	20. 3 (21. 3)
大量出沒年を除く 平均値 (H25～R07)	19	62	181	198	233	146	82	55	13	989	8. 7 (9. 6)
R07年度	25	59	226	200	183	176	219	174	42	1, 304	11 (16)
R08年度	30	119	345	133						627	1 (1)



・平常年は、山のエサが少なくなり農作物が収穫を迎える8月が目撃件数のピークとなっている。令和7年は6月に226件と急増し、その後も夏から秋にかけて高い水準で推移した。10月には再び増加が見られ、年間を通じて人の日常生活圏での目撃が多い状況が続いた。

・大量出沒年では、8月から11月にかけて目撃件数が増加し、特に9月、10月が顕著に増加している。堅果類の豊凶の影響が推察される。